

Seiun

Tezukayama Gakuin Izumigaoka Dousoukai

Vol. 30

青 / 雲

Interview 小西英夫

輝く人 4人からのメッセージ

恩師から 三村先生・南先生

卒業生母校に帰る

ふるさと納税で私立高校を応援！

校長・副校長ごあいさつ

アドミッションセンターより

Club Activity Report 2024

幹事's 同窓生探訪

同窓会レポート

同窓会より

幹事総会報告・会計報告

泉ヶ丘同窓会 組織図

ご案内

第12回 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会

総会・懇親会

第3回 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会

in 東京

会長挨拶

運営費の寄付のお願い

ー株式会社クレイについて

株式会社クレイは、1978年に設立され、フラワーベース（花器）のメーカーとしてデザインや流行に敏感なフローリストの方々に愛用されてきました。創業以来、フエプレス体制で商品開発を行っており、陶器やガラスに限らず、金属や樹脂、木など様々な素材の特徴を活かしたオリジナルのフラワーベースを企画・デザインしています。

メインユーザーはプロのフローリストで、ホテルやレストランなどの商業施設や、テレビ番組のセット、モデルハウスなど、あらゆる空間で花を飾るためにクレイの花器が使用されています。コロナ以降、ホームユースの需要が高まり、ライフスタイルを提案するインテリア雑貨屋やアパレル店などで取り扱われるようになってきました。「クレイ」という社名には、「ひと握りの土からあらゆるものを生み出す」という創業者である父の思いが込められています。

ー横浜国立大学に進学されて在学中に会社をされていたそうですね

当時の東京はバブルの余韻が残る時代で、多くの学生たちは街やディズニールランドなどをジャックしたり、雪山や夏のビーチに特設の施設を作ってイベントを開催したりしていました。そんな中、当時の仲間3人で小さな広告代理店を立ち上げました。自分たちが面白いと思うことを企画して実現させようと考えたのです。最初の3年間は順調で、河口湖のお祭りや首都圏沿線の街興イベント、2000人が収容できる大型店舗の立ち上げなど、企画の立ち上げから運営までをやらせてもらっていました。しかし、経営の勉強をせずに勢いだけで運営していたため、大手クライアントの方向転換や不当たりによる資金繰りの悪化など、小さな問題から徐々に求心力を失い、4年足らずで解散することになりました。様々なことをリセットしたくて休学していた大学に復学させてもらい、結果的に長い学生生活を送ることになりましたが、今でも続く仲間や多くの人脈に恵まれ、そして会社がどのようにして破綻するのかという貴重な経験を得たことは、大変有意義な時間だったと感謝しています。

ー大学卒業後、株式会社クレイに入られたんですね

卒業が決まったときは、まだ売り手市場でもあり一般企業への就職も検討しましたが、色々考えた中で、実家の会社就職することに決めました。

クレイの売上は、自社製品の販売と、顧客のオリジナルを企画から製造までお手伝いするOEMの売上に分かれていて、入社当時、最大手のカタログ通販会社OEMを請けおっていて3〜4割程度の売上をしていました。ECや宅配便が発達していない時代、その通販会社も絶頂期を迎えていたと思います。そしてその会社

インタビュー

Interview

が新しい媒体を立ち上げることになり、私はその媒体向けのOEMの商品開発を担当することになりました。花器とは関係なくいくつもの企画を立ち上げ、採用されるとアジア各国を飛び回り、生産管理まで一人でこなしていたので超過密な日々でした。この時に、様々なジャンルにおけるパイヤーの方々から多くのことを教えてもらい、商品開発における考え方など鍛えてもらいました。

2000年代に入ると、ECの台頭や流通の変化により、カタログ通販の衰退が始まります。関わっていた部署も縮小化されていき、ここでの仕事も減っていきました。充実した日々でしたが、撤退することになりました。

学生時代の仕事も、この通販の仕事も、売上を左右するほどの割合をしめるクライアントの意向によって自社の売上が大きく変わる事の危うさを改めて知ることにより、他社の商品開発に奔走するよりも、自社の製品で確固たるブランドを確立することが、会社の成長と安定において最も重要だと考えるようになりました。

ブランドを確立するというテーマについては、創業者である父と意見が対立しました。デザイナーである父は、「いい商品さえ作ってれば必ず売れる」といって、ブランディングなどはいらないという考えでした。また、社内体制に対する考え方も



株式会社クレイ 代表取締役社長 小西英夫 〈普通科1期生〉



違っていて、事あるごとに衝突し、フラストレーションが溜まる日々が続きました。

そんな中、大手広告代理店で活躍していた友人から私への引き抜きの話が持ちかけられました。大きなアカウントの責任者を任せたいといった魅力的なオファーだったので、正直かなり悩みました。しかし、このことを機に、気持ちを整理し、父に遠慮せず自分の信念をクレイの中で実現しようと考えようになりました。

そして、まずは東京にショールームを出すことを決めました。当時、本社である河内長野と瀬戸に配送センターしか持たない地方の会社でしたが、自社の製品を一堂に展示し、提案できる場所を作りたいと思ったのです。

ーその時は東京に営業拠点が何もない状態でのスタート、麻布十番という場所へのこだわりがあったんですか？

探し始めた当初は、特にこだわりはありませんでした。しかし、必要な広さや条件、賃料とのバランスを考えると非常に難しく、探すのに1年ほどかかりましたが、最終的に麻布十番にとっても気に入った物件を見つけることができました。古い建物を大幅にリノベーションして、商品を見せるだけでなく、落ち着いて商談できるスペースを作りました。2004年にオープンしたショールームは、新しい取引先やこれまでにない取り組みが生まれ、多くの成果を上げることができました。

ー2014年に社長に就任されたんですね

社長に就任してすぐに、これまでにやらなければならないと思っていたことに取り組みしました。人事制度の導入や基幹システムの入替えなどの社内整備、そして会社の40周年記念事業としてCIを作るためのブランディングプロジェクト（以下、B.P.）の立ち上げです。ブーカと呼ばれる時代の中で、会社が持続可能であるための社内インフラを整えることに着手しました。

B.P.の中で生まれた会社のビジョン（経営理念）は「すべての人の想いの先をカタチにする」です。この言葉には、今までになく、人々が求めるであろう価値を形にして提供するという理念が込められています。クレイはこれまでも、花を演出するためのさまざまな資材を業界初として世に送り出してきました。これは、創業者である父の「真似しないで新しいものを生み出す」という考えのもとに商品開発を続けてきたからだと思います。

B.P.の中では、創業者インタビューを行い、外部の専門家にヒアリングしてもらい、創業のストーリーや創業者の想いを言語化してもらいました。また、お取引先や社員へのヒアリングを元に私がまとめて作成したマインド・アイデンティティには、創業者である父の言葉と多くの共通点がありました。全く異なるアプローチや考え方を持つと思っていた父のDNAが、社内や私自身にもしっかりと息づいていることを認識した瞬間でした。

ーそんな中、新事業を立ち上げられたそうですね

そうですね。クレイの商品生産の9割は中国で行っており、次にインド、ヨーロッパが続きます。チャイナリスクや為替問題、戦争など、常にさまざまな脅威にさらされています。これらの影響を受けない新しい事業を構築することは、大きな経営課題でした。

きっかけは、自宅のベランダで無農薬野菜を育てたいと考えたことでした。無農薬野菜を育てるための土を探し始めましたが、実はそれが非常に難しいことに気がきました。ホームセンターで販売されている「有機培養土」は、有機質を含んでいるものの、基本化学肥料で栄養バランスが整えられているため、有機野菜を育てることはできません。この時は、正解の土を見つけれずに断念しました。

その後、電鉄会社の事業開発部から、有機の土壌改良技術を使って沿線開発を進めたいので、その土専用のプランターを作って欲しいという依頼がクレイにきました。それは、立命館大学の久保教授が開発したSOFIX（ソフィックス）技術によって、有機でありながら肥沃な土壌を再現できるというメソッドでした。これはプロ農家向けの土壌改良技術でしたが、家庭用プランターで有機栽培をしたいと考えていた私にはとても興味をそそられる技術でした。

日本で一番売れている有機培養土メーカーの社長である友人にこの技術を紹介し、商品化を試みましたが、1年以上トライしてもうまくいきませんでした。設備などにかんりの投資が必要で、その会社は開発を諦めました。その後もなんとかその土を商品

化したいと考えていた矢先、コロナ禍で世の中が一変しました。この状況になり、改めて新しい事業の柱を作る重要性を考えさせられました。

2021年、国が事業再構築補助金制度を公募したので、この土の事業でエントリーすることにしました。補助金を受け取れるとはいえ、大きな投資が伴うため、父に相談したところ、「面



白そうだ」と背中を押してくれました。最初の公募では不採用でしたが、二回目の公募で採択され、新しい事業がスタートすることになりました。

ーそれで開発されたのがTHEO（ジオ）ですね

有機栽培はプロの農家にとっても難しい栽培方法とされています。化学肥料を使う方が断然簡単に野菜を育てることができます。化学肥料は野菜に必要な栄養素を直接届けることができるため、野菜が大きく育ちやすいのです。従来、有機栽培のためには牛フンや油かすなど、天然由来の窒素、リン酸、カリウムを含む原料を畑に撒いています。しかし、野菜は大きく育たず、実も小さくしか育ちません。これは、原料から作物が吸収できる段階にいたるまでの物質循環が進んでいない事が原因なのです。物質循環は微生物による働きが重要ですので一定量の微生物がいないと、いくら原料を撒いても化学肥料のような栄養素にはならないのです。そして、微生物が活発に活動している土は「肥沃な土」と呼ばれ、ふかふかとしています。この肥沃な土では、作物は化学肥料を使用したときと同じくらいしっかりと育ち、実も大きくなります。この微生物の量と物質循環を可視化したのがSOFIX診断技術です。

この診断をもとに、再現性高く肥沃な土を作り、誰でも簡単に有機栽培ができるようにしたのが完全有機土『THEO』です。この土には1グラム中に6億個以上の微生物が含まれており、栄養バランスと微生物が活動できる環境が整えられています。SOFIX診断においても、全国の圃場でわずか2%しかない全5ランク中最高位の特Aランクを取得しています。

当初、簡単にできると思っていたプロジェクトでしたが、開発には苦労しました。すべての原料を測定し数値化し、混ぜ合わせる過程で微生物が死んでしまうんです。原因を究明するためにすべての原料を一から調べ直したところ、特定の原料に農薬などが混入していることが発覚しました。有機JAS規格で認められた資材でも微生物が死んでしまうことがわかり、使える原料探しには時間を要しました。

こうした試行錯誤を経て、2023年3月に完全有機土『THEO』を、9月に完全有機肥料『oiTHEO』をリリースし、2024年には『THEO』『oiTHEO』ともに有機JAS認定資材であるOMJマークも取得しました。

ー有機栽培（アグリテック）市場については

SDGsに沿った持続可能な食料システムは、国家プロジェクトでもあり年々浸透してくると思われます。日本でもオーガニック市場は消費者の意識の変化とともに需要が拡大しています。有機野菜を購入したいと考える方々は、自分で育てる野菜も有機で作りたいたいと考えるのは当然のことです。そんな方々にとっての答えの一つが『THEO』になれば嬉しいです。

現在は、『THEO』を取り扱っていただける店舗を増やしていくことに力を注いでいます。園芸専門店だけでなく、アパレルやインテリア雑貨のお店など、従来の園芸の枠を超えて広げたいと思っています。また『oiTHEO』はプロ農家向けの資材としても広がって欲しいと考えています。

今後は、花器はもちろんのこと、THEOを中心にガーデニングを含めたライフスタイル全体をお洒落にデザインし、人の想いの先にあるものをカタチにしていきたいと思います。

ー今後のクレイのご発展を応援し、新規事業にも期待しています。ありがとうございました。

株式会社クレイ 〒586-0021 大阪府河内長野市原町 1-3-7

https://clay.co.jp/
THEO https://theo clay.jp/
Instagram https://www.instagram.com/clay.co.jp/

輝く人



内林 隆文

(普通科3期生)
株式会社大林組

3期生の内林です。

私は大阪工業大学建築学科を卒業後、大阪発祥の大林組に入社して多くの建物を担当してきました。

初めて配属した現場は大阪府の由布院で赤いレンガタイル

張りの建物でした。分からないことばかりで右往左往を繰り返していましたが、いよいよ足場のシートが外され建物の外観を目にした時に、自然と涙がこぼれ落ちた感動を今も覚えています。そんな経験をしながら少しずつ成長し、目標を一つに集まった多くの人々と何度も出会い、それぞれの立場の思いが詰まった建物を完成させる喜びを感じるようになりました。

この10年では、梅田「グランフロント大阪」や難波「なんばスカイオ」の高層ビル、「豊中市立文化芸術センター」や「高槻城公園芸術文化劇場」などの劇場も担当してきました。

そして、現在は2025年の大阪・関西万博の会場整備の工事を担当しています。昨年4月の着工時は水も電気も下水も無く、大雨が降っても排水すらできない過酷な環境でのスタートでしたが、何とかその時期は乗り越えて、工事は来々4月の開業に向け最盛期を迎えています。

万博会場のシンボルである大屋根リングは、幅約30m、高さ約20m、内径約615m、周長約2kmの世界最大級の木造建築物です。内側には多数の海外パビリオンが配置され、巨大なリングは万博に参加する世界各国の多様な文化や歴史の素晴らしい、そして人々がつながるというメッセージを持っていると言われています。また、日本の伝統構法「貫接合」で組み立てられたリングは、海外から来られるお客様を日本にお迎えするに相応しいと感じています。

リングの建設は私が担当している大林組JVを含む3つのJVが施工していますが、8月末には3工区の建方が完了し1周がつながる予定です。見た目は同じに見えるリングですが、接合部分の納まりなどは各工区で異なり、施工方法もそれぞれが工夫を凝らした方法で進めてきました。いつもは競争相手である建設会社ですが、万博の工事では良きライバルであり、良き仲間であり、リングの持つメッセージは建設を担当している私たちに通じるものがあると感じています。

1970年の大阪万博の年に生まれ、2025年の大阪・関西万博の建設を担当しているのも万博に縁があったのかなと思います。

今後は、各パビリオンでどのような催しがあるのかソフト面での情報が発信されていくと思います。

是非、お世話になった先生や卒業生の皆さまに興味を持って見に来ていただければと思います。



多炭 雅博

(普通科7期生)
宮崎大学農学部教授

はじめまして。7期生の多炭(たすみ)と申します。高校を卒業してから32年も経ってしまいました。高校卒業後は鳥取大学に進学し、そのまま修士課程に進学し、その後博士課程でアメリカのアイダホ大学とい

うところで留学しました。学位取得後しばらくアメリカで研究員や大学教員として過ごし、2006年から宮崎大学で働いています。専門は接地気象学・水文学・水資源学です。長らく、人工衛星を使って世界の水資源の把握や管理をする方法を研究しています。

さて、研究って面白いんですよ！

いろんな分野のいろんな研究スタイルがあるとは思いますが、僕自身は研究を、ダイヤモンドの原石の研磨作業のようなイメージで捉えています。データはダイヤモンドの原石です。社会や世界に役立つような可能性を秘めているんだけど、そのままではよくわからない。でもデータを上手く解析すると(研磨すると)、そこから社会に役立つ情報や、情報が集まった知恵が見えてくる。自分の専門を生かして社会課題を解決するやりがいも感じます。

研究を通していろんな国に行けるのも楽しいです。10年以上前、インドで調査した時に、木彫りのガネーシャ様を自分へのお土産に買いました。買うときに、「商売繁盛の神様だから、これを買うと仕事が忙しくなっちゃうよ(私はそうになりました……)」と、年配の先生に言われました。単なるジョークだと思ったのですが、なんとそれ以来、仕事がどんどん忙しくなっていて、研究に使える時間がかなり減ってしまいました。。。小さなガネーシャ像にしておいて良かったです。

高校卒業後、ずっと関西から離れて生活をしています。当時は将来九州に住むとは想像もしませんでしたが、どちらかというと田舎ののんびりしたところが好きなので、それと冬に暖かいところが好きなので、宮崎は過ごしやすいです。(欲を言えば、雨が少なく湿度の低い半乾燥地が一番好きなのですが)。

ふと泉ヶ丘のホームページを見てみると、「正解のない未来に、総合知で挑む。」とトップページにドーンと出てきました。まさに今の時代、それが大事だと思います。泉ヶ丘の教育、期待しています。



ガネーシャ



塩湖の生物採ったところ

河内優美子

(普通科21期生)
フリーアナウンサー

私は今、フリーアナウンサーとして東京を拠点に活動しています。テレビやラジオでニュースを読んだり、スポーツ中継のリポートや実況、式典やイベントの司会もしています。東京五輪ではパラ水泳の場

内アナウンスを担当したり女子プロサッカーリーグWEリーグの実況に挑戦したりと、刺激的な毎日です。

私の原点を振り返ると、将来について漠然と夢を抱き始めたのは帝塚山泉ヶ丘中高時代です。恥ずかしながら帰宅部の学生(笑)だった私は、毎日家に帰ってMBSテレビの「ちんぷいぷい」という番組を見るのが楽しみでした。そこで、楽しくゲストの船取りをしながら盛り上げているのが女性アナウンサーでした。前に出過ぎることなくその場をコントロールする姿に格好良いなと感じていたのだと思います。

そんな中高時代には学園祭や体育祭でダンスなどの出し物に積極的に参加したり、高校の卒業旅行で中国に行った際は現地校との交流でソーラン節を踊ったり……!! 面白そうな企画やイベントには手を挙げて参加していた記憶があります。人前で自分を表現することが楽しい!と感じられる経験をたくさんさせて頂きました。

大学を卒業したあとは、静岡放送という民放テレビ局で朝の情報番組のMCを3年勤め、その後フリーアナウンサーとしてのキャリアをスタートし、現在に至ります。「テレビ局を辞めて、アナウンサーの仕事だけで生活するのは大変なことだよな?」とよく聞かれますが、私は、学生時代からずっと、様々なご縁に身を任せ、心のアンテナに触れるものをキャッチし、そこに邁進することで、前に進み続けることができました。学生時代の一つ一つの経験が、自分の人生を選択する力になり、アナウンサーという夢も叶えることができました。中学高校という大切な人生の時間に多くのチャレンジをさせてもらった環境に感謝しています。

これからも「挑戦」をテーマに、笑顔大切にアナウンサー人生を歩みます♪



村田 英奈

(36期生)
令和6年度今宮戎神社福娘

36期生の村田英奈です。普段は、近畿大学の経営学部所属し、国際ビジネスについて学んでいます。この度、私は令和6年今宮戎神社の福娘として奉仕させていただいた経験を皆様にお伝えしようと思います。

私は、日本の伝統や歴史にとっても関心を持ち、高校生の頃から福娘になることに憧れを感じていました。私の笑顔で誰かを幸せな気持ちにできたらなと思い、祖母の後押しから約75倍の厳しい面接を経て、福娘になることができました。

しかし、私が想像していた華やかで素敵な福娘の裏側は壮絶なものでした。神様に仕える存在として、奉仕中は飲食禁止、お手洗いにも行けません。新年明けから十日戎の期間は、朝早くから夜遅くまで笑顔を絶やさず、テレビ局や新聞社、大阪府庁などへ挨拶回りに行きます。収録や大発表、宝恵駕籠行列の仕事もこなし、休憩時間も短い中、神社では笹に吉兆類を付け続けます。そんな過酷な奉仕期間を通して分かったことは、礼儀作法やマナー、立ち居振る舞いが以前よりもよくなったように感じます。常に人に見られているという意識が芽生え、カメラマンの方や神社の関係の方にはお礼をすることや、しっかりと人の話には返事をする。参拝者の皆様の福娘への期待を裏切りたくないという気持ちから当たり前のようで当たり前ではないことを常日頃意識して行うことがどれだけ素晴らしいかを再認識することができました。また、辛い経験を共にした仲間は一生涯の宝物になるということです。十日戎を終えた晩、私は人の温もりや思いやる気持ちの大切さに感動し涙で溢れました。最後になりますが、皆様の笑顔あふれる日常を心より願っております。



恩師から

Message いつまでやるの？

三村 浩一 先生（英語）

9年前に泉ヶ丘校を定年退職し、その後帝塚山学院大学で5年間特任教授を務め、縁あって泉ヶ丘に舞い戻り、常勤参与として週4日高校生の指導をしています。論理・表現という科目を担当して、主にライティングを教えています。昼休みや放課後は個人添削も引き受けているので、出校日はなかなかハードです。古希を迎えた高校の同窓生は引退している者が大半で、いつまでやっているんだ、一緒に余生を楽しもうと言う友人もありますが、馬耳東風で日々生徒と向き合っています。

これまでの教員としての歩みを少し振り返ってみると、スタートラインは「不本意入学」だったのです。大学では教職科目を履修していた

ものの卒業後の希望はマスコミ関係でした。それが、オイルショック後の民間就職難で、大阪府の採用試験を受けたところ運よく合格して、教職で糊口を凌ぐことになったわけです。

教員としての生活は、しかし、楽しかった。若さも手伝って、生徒の中に溶け込み、同僚との付き合いも満喫していました。ひょっとしたら教職は天職ではと思ったのもこの頃です。ところが、教員生活が15年ほど経って、「強制異動」と言う制度が創設され、自由な転勤ができなくなりました。これが私立に移ろうと決意した最大の要因でした。17年間務めた府立を辞して泉ヶ丘校に赴任したのは1993年、Jリーグが創設された年でした。



泉ヶ丘校は当時、高校は男子普通科4クラス、女子国際科2クラスで、指導しやすい規模でした。生徒との距離が近く、教員の創意工夫が生かされる教育環境がありました。折しもインターネット黎明期で、教育に取り入れようと悪戦苦闘した記憶があります。普通科の担任の後は国際科の担任もし、国際教育にも携わり、特にオーストラリアの交流校開拓に注力したことも懐かしい思い出です。

現在、泉ヶ丘校は進学実績を含めて躍進を続けています。微力ながらもその躍進の後押しをしたいとも強く願っています。

Message 青雲に寄せて

南 利明 先生（理科）



淑明女子高校歓迎セレモニー 文化ホールにて

卒業生の皆さん、お元気ですか。

この度、やっと青雲の原稿を依頼され、とても嬉しく思います。実は、この機会が来るのを楽しみにしていました。私も本校の教員として過ごした年月が36年になります。その間にたくさんの生徒の皆さんと関わることができたのですが、理科教員、特に物理という教科の特性上、文系希望の皆さんの授業はほとんど担当することがありませんでした。そこは少し残念な点です。

昔も今も私の物理の授業は本当に“静か”に進みます。私の声と、黒板に文字を書く時のチョークの音だけが響く授業です。物理は極端に好き嫌いが分かれる教科なので致し方

ないと思うのですが、何とかこの難解なモノを理解しようと、真面目に取り組んでいるけれどきつと理解できていないだろうな、と思わせるつぶらな瞳で私を見つめ、睡魔と戦い、物理実験室の固い椅子に我慢して座っている皆さんを見ていると、なんだか、詐欺師のような気持ちになり、罪悪感から皆さんにちょっとでも喜んでもらおうと、いろいろなお話をしましたね。

定番はとても怖い話、私が観ている韓国ドラマの話や、なぜか何回も見ると、何者かに迫られているのに靴下はどうしても履けない夢の話、ダンディーに年齢を重ねることの勧めなどなど。今、卒業生の皆さんに誘われ、食事をする機会が多くありますが、その中の一

人が「物理のことは何一つ覚えていないけど。先生は授業中に“男の魅力は40歳からやぞ。”と言っていて、高校生だった僕は早く40歳になりたかった。今年やっとその40歳になりました。」と嬉しそうに話してくれたのを聞き、この宝物のような出合いを大切に、これからも未永く皆さんとつながっていきたく強く思います。

そのためにも、私はこれからも皆さんに負けないよう、より一層身体を鍛え、髪の毛と肝臓を大切に、カッコイイ“イケオジ”を目指して頑張ります。またお会いできるのを楽しみにしています。

卒業生
母校に
帰る



楽しい思い出をたくさん持っているように、生徒たちにも記憶に残る学校生活を送ってほしいと心から願っています。

着任してからまだ数ヶ月ですが、生徒たちと接する中で教わることも多く、自分自身も学び続け、成長していくことの大切さを痛感します。卒業生として、そして教師として、泉ヶ丘校で学んだことを活かし、次の世代を育てることに全力を尽くしたいと思います。

同窓生の皆様には、泉ヶ丘校がこれからも素晴らしい学校であり続けるように、応援をお願いしたいと思います。

家庭科
新家 璃子先生（31期生）



ふるさと納税で私立高校を応援！

母校応援ふるさと納税制度がスタートします

「大阪教育ゆめ基金」へいただいたご寄付を、大阪府内の私立高校等の教育環境の整備、特色・魅力ある教育活動、スポーツ・文化活動を支援するために活用します。



ポイント
1

母校に限らず応援したい私立高校等を指定して寄附ができます。

対象校はこちら▶



ポイント
2

ふるさと納税制度を活用して税額が軽減できます。

寄附の流れ（オンライン申請の場合）

① 申込み	② 入金	③ 受領証明書等発行	④ 控除手続
大阪教育ゆめ基金ホームページよりお申込みください。 	クレジット払い又は金融機関振込をご利用いただけます。	大阪府から税額控除手続きに必要な受領証明書等を送付します。	所轄の税務署へ確定申告を行ってください。ワンストップ特例も利用できます。

※郵送、FAX による申込みを希望される場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

★ご注意 ※ご寄附は、地方自治法第96条第1項第9号に定める「負担付きの寄附」（寄附の条件等として府が法的義務を負い、その不履行の際には当該寄附の解除など寄附の効果に影響を与えるもの）としてではなく、「指定寄附」（寄附者が自らの寄附金について何らかの使途を希望し、府としてこれを尊重しつつ、各分野への配分を判断・活用させていただくもの）としてお受けします。※寄附金の一部を事務費等に充当します。※寄附の返礼品はありません。

お問い合わせ

大阪府 教育庁 私学課 TEL.06-6944-6956

URL <https://www.pref.osaka.lg.jp/shigaku/bokououen/index.html>

お問い合わせ
フォーム▶



新任のごあいさつ



校長
飯田 哲郎

今年度より校長を務めております飯田哲郎です。同窓会の皆様には、日頃より多大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。おかげさまで、泉ヶ丘校は42年目という節目を迎えることができました。

進学実績につきましては、7年連続で現役の国公立大学合格者数が増加しており、昨年度は卒業生317名のうち118名が国公立大学に、さらにそのうち21名が難関国公立大学に合格いたしました。現在、泉ヶ丘校では「家から近い大学ではなく、夢から近い大学へ」というスローガンのもと、学年の先生方に任せるだけでなく、組織として一丸となり、生徒たちの夢を最優先に進路指導に取り組んでいます。その結果が少しずつ出てきているのではないかと考えています。

これからも、卒業生の皆様が築いてこられた歴史と伝統を大切にしながら、時代の変化に応じて見直しが必要な点には柔軟に対応し、「チーム泉ヶ丘」として、学校の発展に努めてまいります。私はこの「チーム泉ヶ丘」にぜひもっと多くの卒業生の方々に参加して頂きたいと考えています。泉ヶ丘校にとって、教育の質を維持し続けつつ、時代の変化に適応するためには、各分野でご活躍される卒業生の皆様の存在が非常に心強いものです。以前、中学3年生で行っていた職業体験や東京研修は、現在は形を変えてZoomを活用した職業探求として実施しています。これらの取り組みも、多くの卒業生の皆様のご協力のもと、豊富な経験や知見を通じて在校生の学びや成長に大きな影響を与えてまいりました。今後とも、皆様の力をお借りしながら教育環境の充実に取り組み、価値ある教育活動を推進してまいりたいと考えております。今後とも、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、コロナ禍を経て学校はさまざまな変化を遂げました。体育大会は中高を分離し、2日間にわたって開催するようになり、始業式や終業式はPCL教室(旧LL教室)を改装したLearning StudioからYouTubeで配信し、各教室で視聴する形式を取り入れました。また、クロスカントリーは、生徒数の増加に伴い安全面に配慮して、中3から高2の三学年で実施し、中2以下は地元の方々と交流しながら清掃活動を行う形にしています。さらに、高校の研修旅行はシンガポールと沖縄の選択制となり、次年度以降はシンガポール、オーストラリア、沖縄の3つから選択できるようになるなど、行事の面でも大きな変化が見られます。

卒業生の皆様には、ぜひ機会がございましたら学校まで足を運んでいただき、新たな泉ヶ丘校をご覧いただきたく存じます。

最後になりましたが、卒業生の皆様のますますのご活躍とご健康を心よりお祈り申し上げます。



副校長
徳留 竜二

本年度、泉ヶ丘校副校長を拝命いたしました徳留竜二と申します。1996年4月に泉ヶ丘校に着任して以来、数学科の一員として勤務してまいりました。おおかたの年でクラス担任も受け持たせていただき、高校3年生の担任として5回、卒業式で晴れの門出に立ち会う機会にも恵まれました。

今年は担当する授業が1コマもなく、教室に行くことも少なくなりました。勤務を終えて帰宅しようとするとき、ふと振り返って「今日、生徒とまったくしゃべってないな」という一日を過ごすこともあります。教員生活29年目にして、勤務のスタイルも、勤務において求められる内容もかなり変わってしまいました。

「地位が人を作る」ということばがありますが、その地位に見合った人格や器量は易々と醸成されるものではありません。しかし、副校長は「校長を助け、命を受けて校務をつかさどる」(学校教育法第三十七条)と定義されており、副校長を、校内のいわゆる「えらい人」とみなす目があることも承知しております。「新米だから」という言い訳はいつまでも通用はしません。分からないことがあれば他の管理職の方に質問しながら仕事を進め、少しでも皆さまに信頼していただける副校長になれるよう努めている毎日です。

先日、泉ヶ丘校の文化ホールで行われた同窓会幹事総会に初めて出席させていただきました。見知った顔に出会い、自分が若かったころの気分を少し思い出すことができました。また、昨年度の活動報告や今年度の活動計画を拝聴し、その中で、壇上にお話しておられる何人もの卒業生の方から「泉ヶ丘愛」という言葉が発せられたことが強く印象に残りました。そうした、母校愛あふれる同窓会の皆さまが泉ヶ丘校を様々な面から支えてくださっていることを今さらながらに実感した次第です。この場をお借りして感謝申し上げます。

今後とも、泉ヶ丘校の教育活動にますますのお力添え、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



アドミッションセンター

令和7(2025)年度 入試のお知らせ

中高6年
一貫コース

Ⅱ類選抜コース

Ⅱ類コース

Ⅰ類コース

【中学入試関連行事】

※ 下記の入試関連行事は、本校にて開催します。詳細はHPでご確認ください。

イベント	入試説明会	プレテスト	プレテスト個別懇談会 教科別質問会
日程	9月7日(土) 9月14日(土)	11月3日(日・祝)	11月16日(土)
備考	児童・保護者対象 〔事前要予約〕	小学6年生対象 〔事前要予約〕 保護者対象の入試説明会も同時開催	プレテスト参加者対象 〔事前要予約〕

高校
3年コース

S特進コース

特進コース

【高校入試関連行事】

※ 下記の入試関連行事は、本校にて開催します。詳細はHPでご確認ください。

イベント	学校見学会	オープン キャンパス	入試説明会
日程	9月14日(土) 9月28日(土) 10月12日(土) 12月19日(木) 12月21日(土)	10月19日(土)	12月7日(土) 12月14日(土)
備考	中学3年生・保護者対象 〔事前要予約〕	生徒・保護者対象 〔事前要予約〕	生徒・保護者対象 〔事前要予約〕

受験生用 LINE@公式アカウント登録受付中!

入試に関する最新情報を
手軽に素早くチェックできます!

友だち追加していただくと説明会やイベントなど入試に関する最新情報をお届けします。メニューバーからホームページの閲覧やイベント申し込みページへのアクセスも手軽にできます。ぜひ、ご登録ください!

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードを
スキャンして登録してください▶



中学・高校入試の
Web出願



入試イベントの
申し込み

中学
入試情報



@376bxorx

高校
入試情報



@526fzmvw



Instagram公式アカウント

公式アカウントを
開設しました。

帝泉での生徒たちの日常を発信する《帝泉snap》やホームページでお届けしきれない帝泉の躍動感をお届けします!



YouTubeの公式チャンネル

公式チャンネルを
開設しました。

クラブ活動や学校行事、日常の学校生活など、帝泉の魅力発信動画を随時お届けしていきます。

学校案内や募集要項などの資料請求、入試に関するお問い合わせは泉ヶ丘校アドミッションセンターまでお願いいたします。連絡先は下記の通りです。

アドミッションセンター TEL.072-293-1416 FAX.072-293-1417 E-mail nyusi@tezuka-i-h.jp



ホストファミリーに
お願いすること

ボランティアとしてホストファミリーに
なっていただけませんか。

是非ボランティアとして、留学生の受け入れのご協力をお願いいたく存じます。「英語が話せない」「家が広くない」「同世代の子供がいない」といった心配はいりません。留学生を預かることはグローバルを体感するよい機会です。第2のふるさとで父親、母親となり、本当に末永くお付き合いをする関係となる可能性もあります。期間としては、10ヶ月・5ヶ月が主になりますが、それ以下の期間でも構いません。

- ★寝る場所：個室である必要はありません。同性のお子様との相部屋も可能です。
- ★食事の提供：学校のある日は朝食2食(昼食は留学生負担)、休日は3食。
- ★交通費、通信費、医療費、その他個人的な出費は全て留学生の自己負担となります。
- ★ご家庭では英語を話す必要はありません。留学生になるべく日本語を話させてください。
- ★留学生はお客さまではありません。お手伝いをさせるなど、ご家族の一員として接してください。
- ★安心して留学生と生活ができるように、各留学生には担当のカウンセラーがつき、ホストファミリーと留学生のご相談に随時対応させていただきます。

ご興味のあるご家庭は
国際教養部：村上までお申し出ください。

メールアドレス
murakami-i@tezuka-i-h.jp

電話：072-293-1221

Club Activity

Report 2024

部活動報告

高校男子バスケットボール部

顧問 柳川 政権



私が顧問を務めさせていただくようになってから11年目を迎えました。この間、冬に行われる新人大会では中央大会への進出を果たしたこともあり(2回出場権を得ましたが、1回はコロナ禍のため、残念ながら大会が中止となってしまいました)、少しずつではありますが、先輩方が積み上げてきてくださったものを形にしていけるようになってきたのではないかと考えております。また、昨年度からはU18のリーグ戦もスタートし、こちらも全4部制での大会の中、本校は3部での出場権を得ております。この夏もリーグ戦での2部昇格と、秋に行われる私学大会での飛躍を目指して練習に励んでまいります。

この数年、日本のバスケットボールを取り巻く環境は大きく変化を遂げました。日本人NBA選手の誕生、自力でのオリンピック出場権の獲得、バスケット選手がCMやバラエティー番組に出演するほどの人気と知名度を得るなど、私が高校生の頃には考えにも及ばなかったことです。バスケの試合をTVで見ることが難しい、図書館や本屋に行かなければバスケの技術を学ぶ術がなかったような時代と違い、今の学生たちは身の周りにバスケットボールが溢れています。知識や情報が簡単に得られるこの恵まれた時代であるからこそ、部員たちには「自ら考えてプレーすること」の大切さを学んでほしいと考えております。学校の部活動でバスケをすることは、うまくなること、試合に勝つことだけを目標にしているわけではありません。仲間と熱い議論を交わすこと、大きな壁にぶつかっても挫けず立ち向かうこと、自分の意見や考えを持って行動すること、人にその思いを伝えられること。学生たちが大人になり社会に羽ばたいていったとき必要となる力を育てていくこそが、部活動の意義であるということを伝えられるよう、日々活動してまいります。

今後も、男子バスケットボール部に変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



鉄道研究部

高校1年1組 川中 悠市郎



鉄道研究部は、金曜日と土曜日の週2日で活動しています。昨年度は、コロナウイルスの影響で参加できずにいた、東京で開催される鉄道模型コンテストに、5年ぶりに出場しました。部員全員が、大会に出場することが初めてだったので、色々分からないことがあったり、失敗したり、意見がぶつかったり、ジオラマが大会までに完成できなそうになって全員で大急ぎで製作したりと、様々なことがありました。そして、猛暑の中迎えた大会は、大勢の人どものすごい熱気で満ちあふれていました。色々見て回っていると、一際目を引く、大迫力の白鷺城のジオラマがありました。緻密に計算されたデザインに圧倒され、来年度への課題を実感した瞬間でもありました。

今年度は高校一年生となり、新たな部員も入部してきて、とても賑やかになっています。今年の夏の大会に備え、前年度の反省を生かして作品づくりに取り組んでいます。設計図の作成、小物作り、土台作りなど、それぞれの長所を生かして作品をつくっています。部員は皆個性派ぞろいなので、大変なこともたくさんありますが、一丸となって大会を大成功させたいと思っています。それぞれの個性を尊重しつつ、勉強とのバランスも考え、日々進歩し続けられるようなクラブにするために、これからも部員全員で努力してまいります。



幹事's

同窓生探訪

Dousousei Tanbo

徳山 葵 (旧姓 細本)
AOI TOKUYAMA [国際科12期生]

取材：阪井士紋(34期生)

大阪日本語学院

OSAKA JAPANESE LANGUAGE SCHOOL

今回訪れたのは国際科12期生の徳山葵さんが運営されている、堺市の北花田駅近くにある大阪日本語学院です。

ここには世界中から日本語を学ぶ熱心な学生が集まっています。この日は午前授業と午後授業の合間のお昼休みに伺いさせていただき、通われている学生からお話を聞きました。

学校は住宅街の中にあり、普段は落ち着いた雰囲気です。しかしお昼になれば登下校する多くの学生たちで、学校の前はたちまち賑やかになります。学生たちは学校が終わってからもアルバイトなどで大忙し、エネルギーに満ち溢れている様子が印象的でした。そんな忙しい中、何人かの学生からお話を伺うことができました。

大阪日本語学院の学生はアジア各国から留学ビザで来日しています。今回はその中でもインドネシア、スリランカ、ネパール、バングラデシュからやってきた学生とお話できました。彼らはITの分野に興味があるらしく、日本の専門学校や大学に入って勉強したいそうです。そのために、現在こちらの大阪日本語学院で日本語を勉強されています。留学生ということで、日本の高校生や大学生くらいの年齢の人たちばかりと思いきや、下は18歳から上は30歳まで幅広い年齢の方がいらっしゃいました。日本語の習熟度に多少の差はありますが、みなさん高い熱意とともに夢に向かって勉強されていることが伝わってきました。

このようなグローバルな日本語学校を精力的に運営されているのが、冒頭でも紹介しました徳山葵さんです。

甲南大学在学中に英国リーズ大学へ1年間交換留学されており、熱心に勉強に励まれたと同時に、ご自身が留学生として他国の学生と交流することで、改めて日本の素晴らしさを認識し、世界の中での

日本、日本人について考える良い機会になったそうです。大学卒業後、教育とは縁遠い別の仕事(アパレル企業、住宅メーカー)をされていたのですが、現在はお父様が設立された日本語学校の運営をされています。2003年の開校以来、コロナ禍を挟みつつ、現在は400人を超す留学生が通う学校になっています。

入職当初は日本語教育業界の知識に乏しく、学内での役割に悩み心身のバランスが崩れたこともあったそうです。また、コロナ禍で留学生の入国がストップ、それでも卒業は通常通りのため在校生はほとんど減り、一時は業務停止についても考えるほどに。

そんな厳しい状況下で、同級生から誘われた異業種交流会での同窓生との関わりが1つの分岐点になったそうです。新しい角度の助言や提案を頂くことで学校運営に対する理念が明確になり、「日本へ来てくれる留学生に対して何ができるか」「日本語学校としての社会貢献とは何か」ということを意識して日々過ごすようになり、現在は日本語だけでなく多くの体験を通じて日本を好きになって欲しいという思いから、地域交流や文化体験も積極的に行われているそうです。今まで世界中をあちこち旅してこられた徳山さんのアクティブさが、日本語学校の運営に生かされていると思います。

徳山さんと大阪日本語学院のますますのご発展を祈念しております。

大阪日本語学院

〒591-8008
大阪府堺市北区東浅香山町2-74-26 (1号館)
2-315 (2号館) 2-314 (3号館)

<https://osaka-jls.net>



HP



Facebook

同窓会 レポート

◆24期生(3年コース)同窓会

小山真大郎(24期生<3年コース>)

令和5(2023)年11月4日に昼の部:restaurant & bar BARKT、夜の部:大成閣で24期生同窓会を開催しました。

昼の部から谷先生、宮崎先生、森先生にご出席いただき、夜の部には錦織先生、京谷先生も駆けつけていただきました。

久しぶりに再会する先生方や同級生達とそれぞれの近況や当時の思い出などで大変盛り上がりました。当時、楽しかった思い出は今も変わらず、嫌だっけり恥づかしかった思い出は笑い話となってお酒の良い肴になりました。

仕事もプライベートも忙しい中、昼の部、夜の部(+3次会まで笑)ともにたくさんの参加者でした。

次回の同窓会は40歳の節目となる2030年に開催したと思います(小山が勝手に決めました)ので今回、参加できなかった方々も次回は是非ご参加よろしく願います。

同窓会でなくても私は岸和田に居ますのでいつでも飲みに誘ってくださいね。

幹事:鈴木沙希、安井加菜、茂木佑希子、小山真大郎



◆31期生同窓会 (12/29) at スターゲイトホテル

長屋航平 定沙樹(31期生)

令和5年12月29日にスターゲイトホテルで同窓会を行いました。今回は、松下先生・阪口先生・飯田先生・伊藤先生にご参加いただきました。また先生方には開催するにあたり、たくさんのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

31期生の大学卒業のタイミングとともに開催しようとした2020年、招待状のはがきを送付した直後に、新型コロナウイルスが日本で猛威を奮い、悔しくも開催を断念しました。それから2年、昨年5月にはコロナウイルスが5類になり、コロナ禍の終わりが見えはじめ、ようやく開催できた同窓会でした。

当日は、4年振りの同窓会ということで数年振りに会う先生方や同級生とたくさん話したり、景品は当日のお楽しみだった抽選会をしたりと、大いに盛り上がりました。「楽しかった」や「また開催してほしい」という声が非常に多かったので、また近いうちに開催したいと思います。

今回は12月末の最後の平日というお忙しい時期にも関わらず参加いただいた皆様、ありがとうございました。次回はもっと参加しやすいように開催場所も考慮しつつ、休日開催したいところです。

次回も多くの方とお会いできるように活動していきますので、どうぞよろしくお願いします。

◆37期生成人の集い

尾辻怜(37期生)

令和6(2024)年1月9日の「成人の日」、スイスホテル南海大阪にて37期生の成人祝い同窓会を開催しました。中高でお世話になった先生方、高校時代を共に過ごした仲間や中学以来の再会となる人にも参加していただきました。

まず集合写真の撮影から始まりました。釜先生に乾杯の首頭を取っていただき、いよいよパーティーの始まりです。美味しい料理を食べながら、動画では懐かしい先生方からの熱いメッセージや懐かしい写真のスライドショーに会話に花を咲かせました。途中からは同窓生同士の交流を深めるために抽選会を開催し、見事豪華景品を獲得した時は大いに盛り上がりました。

同窓会のみなさんをはじめ、たくさんの方々に支えられて、とても素敵な成人祝い同窓会になりました。また次回、みなさんとお会いできるのを楽しみにしています。



2024年3月31日 泉ヶ丘校内体育館にて

◆小池正昭先生の傘寿を祝う会

中川恵介(普通科7期生)



令和5年11月12日の午後、大成閣にて小池正昭先生の傘寿を祝う会が開催されました。泉ヶ丘中学校の2期生、5期生、8期生の33名が集い、登先生、森俊樹先生、谷先生にもご参加いただき、小池先生の誕生日を盛大にお祝いしました。

小池先生は80歳とは思えない若々しさと知性をお持ちで、現役時代と変わらないその活力と明晰な会話に驚かされました。阪神タイガースの大ファンである小池先生は、昨年18年ぶりに優勝したということもあり、とてもご機嫌で、3時間に及ぶ談笑の時間は、あっという間に過ぎました。

小池先生の代名詞ともいえる「小池スペシャル」は、教え子たちの間で忘れられない思い出です。これは、授業中に生徒がふざけたり集中力を欠いたりしたときに、小池先生がこめかみのあたりの髪の毛を両手で引っ張るというユーモラスな体罰でした。痛みと共に先生の愛情を感じるその行為は、多くの生徒にとって「イタいい」思い出として、40年近く経っても心に刻まれています。

筆者は東京在住ということもあり、久しぶりに同級生や同窓生に会えて楽しいひとときを過ごすことができました。

◆第2回バスケットボール部OB会

沢山の方に集まっていただきました。次回もお楽しみに!

◆2023年度 東京同窓会総会報告

10月28日、4年ぶりに東京同窓会総会が開催されました。

今年度は、旧校舎を思い出させる「学士会館」に場所を移し、常務理事柏木様をはじめ、ご来賓の方々、道浦達久先生、松本光司先生をお招きしました。総勢96名が一堂に会し、松山帝塚山同窓会会長の乾杯のご発声で祝宴が始まりました。今回は第61回生のアンサンブルユニット、soixante-et-un(ソワサン テアン)をゲストにお迎えして「帝塚山学院バージョン」の曲をご披露していただきました。また、結成20周年を迎えられた東京同窓会有志の女性コーラスグループ『MADAM e DO』の素敵な歌声が花を添えてくださいました。

最後に今回の開催にあたりご支援ご協力を賜りました皆様に深く感謝を申し上げます。



2024年度 帝塚山学院

東京同窓会 総会のお知らせ

2024年9月16日(月・祝)11:30~14:00
場所/レストラン ペニーレ ペニーレ

東京都新宿区新宿3-5-4 レインボービレッジ8階

◆会費:10,000円

参加申込み方法

- ① お名前(旧姓) ② 会員番号(または卒業年か生まれ年)
- ③ 連絡先

上記3点を明記のうえ、2024年度東京同窓会総会の連絡先メールアドレスまでお送りください。または、お電話でお申込みください

〈連絡先メールアドレス・電話〉
tezukayamatokyo@gmail.com

帆足(渡辺)依津子(61回) TEL.03-3384-6284

桑田(今西)正代(61回) TEL.090-3359-2082

《お知らせ》

今後の東京同窓会総会の日程や詳細につきましては、帝塚山同窓会HP内「東京同窓会」と各同窓会会誌よりご案内させていただきます。諸事情によりハガキでのご案内はいたしません。皆様お誘い合わせの上、たくさんの方のご参加をお待ちしております。

帝塚山同窓会ホームページ内「東京同窓会」



<https://www.tezukayama-gr.jp/category/tokyo-alumni>

[61・62 回世話役一同]

学校情報委員会報告

令和5年11月4日(土)の3・4限目に、恒例の「職業探求講座」を実施しました。

中学3年生を対象に、ZOOMで同窓生4名と教室を繋いで行われ、泉ヶ丘時代の思い出や、どのように受験勉強をしていたか、大学・学部を選んだ理由を話していただきました。もちろんお仕事を選んだ理由や、そのお仕事のやり甲斐などにも触れ、学生諸君の輝かしい未来への道標!、、、の一助になっていたら嬉しいですね。

ご協力いただきました、普通科3期(男性)、国際科11期(女性)、普通科15期(男性)、29期(女性)の同窓生の皆様、ありがとうございました!

委員長 菊之井秀年(普通科3期生)



広報委員会より お願い

広報委員会では『Seiun』の「輝く人」および「同窓生探訪」コーナーに出ていただける方を随時募集しています。

毎回、様々な分野で活躍されている卒業生を紹介していますが、同級生や同窓生の中で「この人は!」と思う方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

ご紹介いただける方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局までご連絡をお願いいたします。自薦他薦は問いません!

ご協力いただけると幸いです。よろしく願いいたします。



令和5(2023)年度 会計報告

収入の部		(単位:円)
会費収入	6,400,000	寄付金収入 402,536
総会会費収入	0	雑収入 980
総会関連費引当金取崩額	0	受取利息 310
泉ヶ丘東京同窓会会費収入	0	合計 6,803,826
泉ヶ丘東京同窓会関連費引当金取崩額	0	
支出の部		(単位:円)
連絡協議会分担金	127,000	総会関連費 0
贈答費	598,700	総会関連費引当金繰入額 300,000
通信費	141,677	泉ヶ丘東京同窓会関連費 0
帝塚山東京同窓会関連費	46,836	泉ヶ丘東京同窓会関連費引当金繰入額 0
会誌費	1,339,721	備品消耗品費 71,545
活動費	268,106	会費返金(転退学者) 80,000
人件費	1,822,894	学校協力費引当金繰入額 200,000
退職慰労引当繰入額	100,000	雑費 19,349
広報費	48,180	予備費 0
泉ヶ丘祭関連費	35,618	合計 5,199,626
会員交流委員会関連費	0	

2024年度

同窓会幹事総会の報告

副会長 島田裕典(普通科13期生)

令和6年6月15日(土)午後2時30分より、泉ヶ丘校の文化ホールにて年に一度の幹事総会が行われました。

普通科1期生から昨年度の卒業生である39期生まで総勢37名の幹事が集まりました。お忙しい中、飯田校長・徳留副校長・前田教頭にもご臨席賜りました。

飯田校長からは、泉ヶ丘校の近況報告などがあり、在校生や後輩の活躍されているお話に、皆さま耳を傾けておりました。

その後、各委員の活動報告、決算と会計監査報告、今年度の事業計画の説明などが行われ承認されました。

幹事総会後の懇親会は、39期の新任幹事の皆様の歓迎会を兼ねて今年は光明池の「のぼり調子」で学年の垣根を越えて盛大に行われました。

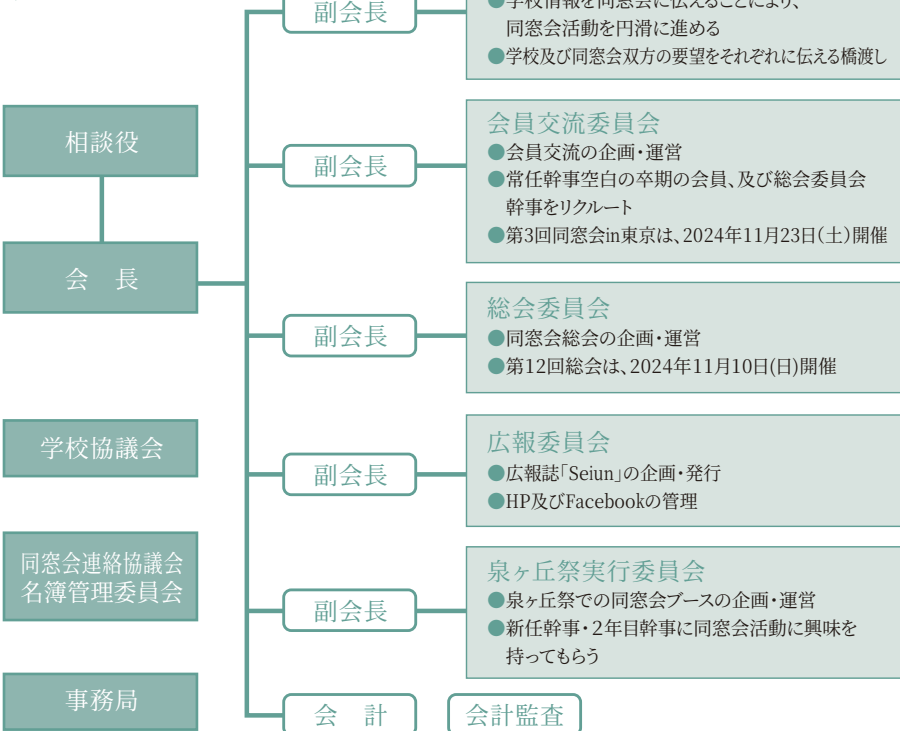
同窓会活動には、若い方の力も必要となります。ご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的にご参加いただけますと幸いに存じます。



2024年度

泉ヶ丘同窓会 組織図

(2024年6月15日現在)



役員

役職	氏名	卒回
会長	田中 尚寛	普5
副会長	奥村 幸恵	際2
	井上さくら	際5
	垣内 真里	際6
	岸本 行正	普13
	島田 裕典	普13
会計	得田知栄子	際3
	稲次 啓介	普10
監査	比来 一郎	普7
	平井 啓一	普2
相談役	松本 隆司	普1
	平井 啓一	普2
	細川 博	普3
	山根 敬介	普4

委員会

学校情報委員会	委員長	菊之井秀年	普3
	副委員長	仙波 真理	際5
	副委員長	斧山 紀子	際9
会員交流委員会	委員長	鎌倉 司	普18
	副委員長	船中 大輔	普8
	副委員長	亀井 衛馬	普15
総会委員会	委員長	辻 英宜	普12
	副委員長	堀田 将矢	普12
広報委員会	委員長	大嶋菜穂子	際3
	副委員長	相澤 輝代	際4
泉ヶ丘祭実行委員会	委員長	安坂 雄大	30期
	副委員長	奥野 佑樹	27期
事務局員		大野 晴子	際1
		阿部 聖子	際6

第12回 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会 総会・懇親会 のご案内

アナタに会いたい人が待ってます

在校生の管弦楽部の
演奏があります！
ぜひ、沢山の同窓生と
ご参加ください！



2024年

日時 **11/10** 日
11:00～14:00 (受付10:30～)

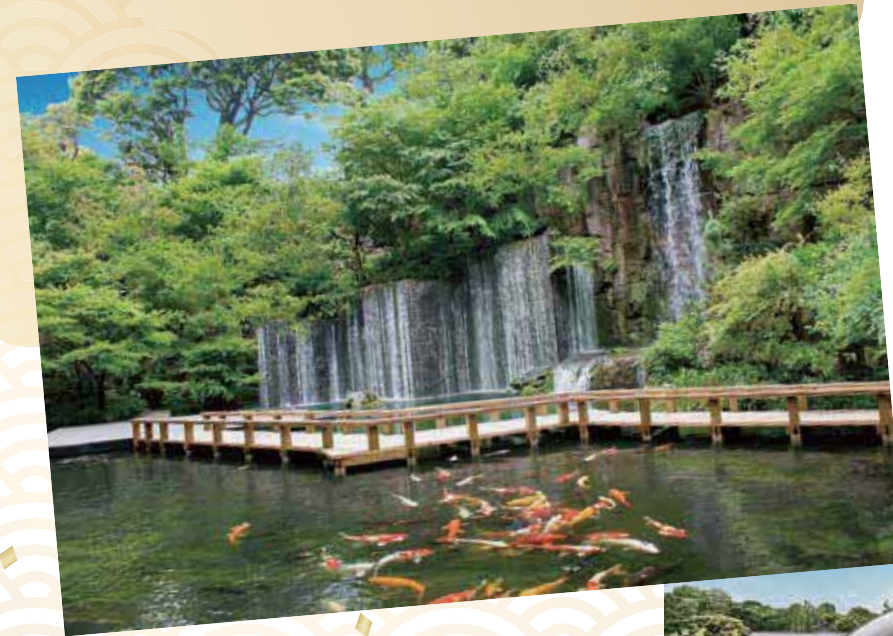
会費 一般: 1期～28期 7,000円
30歳満: 29期～33期 5,000円
学生: 34期～39期 3,000円
同伴者 8,000円

場所 ホテル日航大阪 5階 鶴の間
住所: 大阪府大阪市中央区西心斎橋1-3-3
TEL. 06-6244-1111

締切 10月15日 (火)
申し込み: QRコードから
お願いします



お問合せ 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
〒590-0113 大阪府堺市南区晴美台4丁2-1
TEL/FAX 072(293)8680
E-mail: t.izumi@aurora.ocn.ne.jp



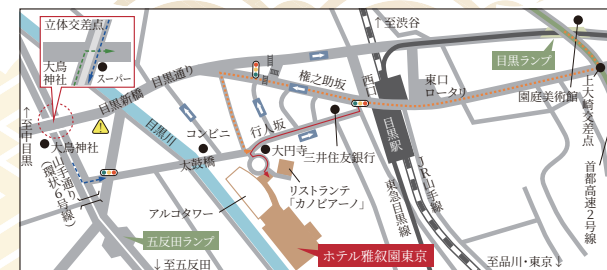
第3回 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会 in 東京のご案内

2024年

11/23 土・祝 13:00開始

場所: ホテル雅叙園東京 2階「華つどい」
住所: 東京都目黒区下目黒1-8-1 TEL.03-3491-4111 (大代表)

◆会費/ 1期～28期 9,000円
29期～ 5,000円
学生 4,000円
小学生以上 1,500円
同伴者 10,000円



申し込み: QRコードからお願いします
問い合わせ先:
tezukayama.tokyodousoukai@gmail.com
締切: 10月10日(木)



★随時開催に向けての情報をお送りしますので
参加の有無に関わらずご興味ある方は
QRコードからLINEの登録をお願いします



あの頃から今日までの日々、
語りませんか。

運営費の寄付のお願い

日頃運営費節減に努めているものの、卒業生数が増加していることによる固定経費（会誌費、通信費など）の増加、泉ヶ丘同窓会の活動の活性化による負担増大により、年間の収支が悪化傾向にあります。この状況を少しでも改善するために、皆様から運営費の寄付（2,000円）をお願いしたいと存じます。ご協力いただけるのでございましたら、同封の振替用紙（35期までの卒業生の皆様に同封）で郵便局より泉ヶ丘同窓会宛にご送金をお願いいたします。寄付をいただいた方のお名前を次号の青雲に掲載させていただきます。

振込先(ネット振込)

口座名	帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
-----	-------------

振込先	口座記号番号	一口
ゆうちょ銀行から	00940-8-280549	2,000円
他銀行から	ゆうちょ銀行 当座 店名 099支店 口座 0280549	

◎名前・住所変更等がある場合、振込用紙(同封)の備考欄にご記入ください。

多数の方々にご寄付をいただきました。
泉ヶ丘同窓会へのご支援、ありがとうございます。

卒期	名 前	卒期	名 前	卒期	名 前
普1	角掛 潤一	際3	大嶋菜穂子	際8	高地佐知子
普1	関戸 美照	際3	太田 純子	普10	稲次 啓介
普1	西上 孔雄	普5	阪井 信也	普10	加藤 賢
普1	東浦 孝次	普5	田中 尚寛	普10	西田 宜弘
普1	松本 隆司	普5	宮下 健一	普10	山崎 賢
普2	喜多 照雄	普5	森 義治	際9	斧山 紀子
普2	平井 啓一	際4	相澤 輝代	普13	川田 徳宏
際1	井上 節子	際4	須崎 知香	普13	島田 裕典
際1	大島真理子	普6	片上 清勝	普13	東條 健
際1	大野 晴子	普6	岸本 威也	普15	淀野 晃和
際1	中井公美子	普6	根本 敦記	普16	森本 高好
際1	南 満寿美	際5	西村香奈枝	際16	鈴木ひとみ
際1	依田安希子	際5	芳野久美子	際18	鈴木 絢子
普3	青柳 文浩	普7	阪口 正則	24期	赤木 寛明
普3	勝部 正典	普7	末原 俊幸	25期	西脇 大樹
普3	菊之井秀年	普7	多炭 雅博	26期	竹田 和輝
普3	木村 公彦	際6	阿部 聖子	27期	泉森 勇也
普3	阪口 直樹	際6	垣内 真里	28期	西脇 葵
普3	富内 啓之	際6	土肥奈央子	29期	福永 敦
普3	細川 博	際6	村田 綾子	30期	辻川 訓史
際2	奥村 幸恵	普8	岩間 一	31期	中東 卓
際2	阪口佳代子	普8	前田 宏樹	32期	関戸 紀和
普4	松山 陽一	普8	森田 将史	34期	関戸 理和
普4	山根 敬介	際7	三枚 聖子	34期	田崎 花音
普4	山本 淳史	際7	森田 聡子	34期	谷山 翔馬
普4	芳野 純一	普9	大槻 充紀	38期	南 威至

泉ヶ丘祭

2024年 9/21 sat

〔時間〕 10:00 ~ 14:30

〔場所〕 B棟地下 グループ6、グループ7

cafe 同窓会カフェ

美味しいドリンク
準備して待ってます！
ぜひ涼みに来てください♪

上品かつ、かわいらしい
触り心地バツグンの貴重な人形を
寄附によるお礼グッズとして限定登場！

泉ヶ丘
オリジナル

ぜひ
来てね♪

泉ヶ丘ベア

IZUMIGAOKA BEAR

50set 限定 2つセットで3,000円以上の
寄附をお願いいたします！

昨年に引き続き、
泉ヶ丘ベアをご用意していますので、
ぜひお越しください！

会長のご挨拶



帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
会長 田中 尚寛（普通科5期生）

素晴らしい「帝泉出」！

卒業生の皆様、平素から同窓会の運営・維持に多大なるご厚情をいただきまことにありがとうございます。

昨年の幹事総会にてご承認をいただき会長を仰せつかり、2024年度も「統投」を仰せつかりました普通科5期（1989年卒業）の田中尚寛です。

本年度は卒業生累計数が1万人を超え、名実ともに「伝統校」の仲間入りをする年であります。当たり前の話ですが、卒業した学校が同じ仲間が1万人いるということです。社会人になっていろいろなかたちの交友をみなさんをお持ちだと思います。しかし、こんなにも分かりやすく簡単に「帝泉出なん」ということだけで結びつけるということは本当に素晴らしいことではないかと改めて感じます。

本年は大阪と東京で同窓会が開かれる特別な年でもあります。皆さん、是非ともご参加のうえ「帝泉出なん」の輪を広げてください！

母校は飯田新校長のもと、高校教育の無償化という社会の大きな変化にも十分に対応できる上手く「新旧」が混ざった体制で運営されています。

江口前校長がよく口にされていた、変わるべきところと変わってはいけなところがあるという「不易流行」が節々で実践されているのだと感心せずにはいません。

たくさんの方々が同窓会に参加していただけるはずで、同窓会への多くの方のご参加を心待ちにしております。



帝塚山学院
泉ヶ丘同窓会

公式

Instagram



#帝塚山学院泉ヶ丘
#泉ヶ丘同窓会
#帝泉



帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
公式 Facebook

同窓会活動や個々の委員会活動の
最新情報をお知らせしています。

参加方法

帝塚山学院泉ヶ丘同窓会 で検索

参加 ボタンをクリック！
または、QRコードから



〈東京を拠点に活動している皆様へ〉
帝塚山学院泉ヶ丘同窓会【東京】の
プライベートグループにて交流しませんか？

参加方法

帝塚山学院泉ヶ丘同窓会 東京 で検索

参加 ボタンをクリック！
または、QRコードから



◎ご参加にあたってプロフィールの学歴欄に「帝塚山学院泉ヶ丘」の記載をお願いします。



近々リニューアル予定！



Webは
こちら

会報誌（Seiun）のバックナンバーがご覧になります。

www.tezuka-izumi.jp

編集後記



広報委員長
大嶋 菜穂子
（国際科3期生）

今回も『Seiun』の発行に際し、ご協力いただきありがとうございました。広報委員会には新しいメンバーを迎えました。若いメンバーの加入により、委員会の活動が一層豊かになるよう、取り組んでまいります。泉ヶ丘校は開校から42年目を迎え、卒業生も1万人を超えたとのこと。月日の流れを感じるとともに、これだけの仲間がいることを嬉しく思います。また、今年度より飯田新校長のもと新たにスタートしています。泉ヶ丘校らしさをそのまに、ますますの発展を期待します！

本年は大阪と東京で同窓会総会が開催されます。卒業生や恩師との楽しい時間を過ごすべく、皆様のご参加をお待ちしております。

訃報

お悔やみ申し上げます

長濱 正純(普通科1期)
戴本 明路(普通科22期)
井上 勝博 先生(社会科教諭)

Tezukayama
Gokun
Izumigaoka
Donsoukai

Seiun

青雲
会

Vol. 30

発行年／巻96(2004)年8月
編集・発行 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
制作・印刷 株式会社シカ・コミュニケーションズ

〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2-1
〒586-0009 河内長野市木戸西町1-5-7

TEL・FAX.072(293)8680
TEL.0721(52)5934

HP: <http://www.tezuka-izumi.jp/>
HP: <https://www.cisca.jp>

